

(様式)

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名： 総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会, ○機械工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	力学を基盤とする工学・技術は、応用力学、流体力学、熱力学、振動・制御学などの学術分野、あるいはエネルギー機械、輸送機械、製造・加工機械、建設機械、情報機器、計測機器など、極めて多岐に亘って発展を続けている。これらの分野の革新には、各専門学術分野の深化と他分野との協働が必要であり、また化学、生物学、医学などとの融合領域の開拓も必要である。未来社会に貢献する、このような学際・横断型の手法と知識の創出を可能とするためには、力学を基盤とする各分野の継続的な情報交換、学术交流が必要である。本分科会では、各分野の専門家を集めて、未来に向けた力学基盤の工学のあり方を検討する。
4	審議事項	1. 応用力学、流体力学、熱力学、振動・制御学などの力学の基礎分野、あるいはエネルギー機械、輸送機械、製造・加工機械、建設機械、情報機器、計測機器などの応用分野の動向を調査し、力学を基盤とする広域的な工学の体系を整理し、各分野の強化と発展を促すための包括的な方策を審議する。広く関連する学協会の協力を得ながら進める。 2. 力学を基盤とする工学の体系が、社会や国民へより貢献するための具体的な課題の抽出とその推進策を検討する。 3. 関連各工学・技術分野の情報交換、連携の促進の方策を審議する。 4. まとめ
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 常設
6	備考	